評価分類	評価項目	評価基準	配点	備考	定量·定性 区分	様式
財務体質等	自己資本比率の状況	経営の安定度を評価  ○20%以上 ○10%超から20%未満 ○0%超から10%未満 ○0%	4点 2点 1点 0点	- - ※計算に使用した証拠書類も提出 - ※自己資本÷総資本×100	定量評価	様式3
	流動比率の状況	短期的な支払能力を評価 ○150%以上 ○100%以上150%未満 ○100%未満	4点 2点 0点	※計算に使用した証拠書類も提出 ※流動資産÷流動負債×100	定量評価	様式4
	経常利益の状況	総合的な成長を評価  ○3ヶ年とも前期より向上  ○3ヶ年のうち2ヶ年が前期より向上  ○3ヶ年のうち1ヶ年が前期より向上  ○3ヶ年とも前期より向上せず	4点 2点 1点 0点	※当期経常利益と前期経常利益を比較し、経常利益が増加しているかで判断 ※3ヶ年の状況で評価 ※当期経常利益が赤字の場合は、向上としない ※経常利益の証拠書類も提出	定量評価	様式5
	過去3ヶ年の決算状況 (赤字の有無)	収益力を評価	4点 2点 1点 0点	※計算に使用した証拠書類も提出 ※過去3ヶ年の損益計算書の経常利益で評価	定量評価	様式6
	キャッシュフローの状況	営業キャッシュフローで評価  ○営業キャッシュフローが0円超  ○営業キャッシュフローが0円以下、または、 上場企業でキャッシュフロー計算書を未作成		※計算に使用した証拠書類も提出 ※キャッシュフロー計算書が未作成の場合は、財務諸表 (貸借対照表、損益計算書等)に基づく算出による評価を 可とする。	定量評価	様式7
地域精通度	企業の所在地	本店、支店、営業所等の所在地を評価  ○市内に本店あり  ○市内に支店、営業所等あり  ○府内に本店、支店、営業所等あり  ○府内に本店、支店、営業所等なし	4点 2点 1点 0点	- - ※箕面市内・大阪府内の本店、支店及び営業所の有無を評 - 価	定量評価	様式8
市への社会貢献度	市との災害時応援協定等 の締結による地域貢献の 実績	災害時の応援等に係る市との災害時応援協定の 締結の有無を評価 ○協定締結あり ○協定締結なし	3点	※災害時応援協定等を市と締結している事業者を評価。事業者の所属している団体が、市との協定等を締結しているときも評価の対象とする。	定量評価	様式9
企業の実績・能力	企業の同種・類似業務の 実績	企業の同種・類似業務受託実績を評価  ○同種かつ同規模以上の業務受託実績あり  ○同種かつ1/2以上の規模の業務受託実績あり  ○類似業務の業務受託実績あり  ○上記いずれも実績なし		※「同種業務」とは、土木工事の現場技術業務とする。 ※「類似業務」とは、土木以外の工事の現場技術業務とする。 る。 ※「同規模」とは、業務委託料(税込)1500万円以上の業 務とする。	定量評価	様式10
配置予定従事者の 実績・能力	配置予定従事者の保有する資格	業務を執行するうえで有効な国家資格等の有無 を評価 〇資格あり	15点	※配置予定従事者(担当技術者)の国家資格等の有無を評価する。 ※「有効な国家資格等」とは、一級土木施工管理技士とする。	定量評価	定量評価
	配置予定従事者の業務実 績	同種・類似業務の実績の有無を評価  ○責任者として同種業務に従事した実績あり  ○同種業務に従事していた実績あり  ○類似業務に従事していた実績あり  ○同種・類似業務に従事した実績なし	25点 10点 5点 0点	※配置予定従事者(担当技術者)の同種・類似業務への従事 実績を評価する。 ※「同種業務」とは、土木工事の現場技術業務とする。 ・※「類似業務」とは、土木以外の工事の現場技術業務とする。	定量評価	様式11
	配置予定従事者の業務内容に関する専門知識等	同種・類似業務内容に関する専門知識等の有無を 評価 ○専門知識等あり ○専門知識等なし	5点	※「専門知識」とは、土木工事の現場技術業務における知識 とする。	定量評価	
研修体制	研修の実施	技術力向上のための研修の実施状況を評価	10点	※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする。 ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない。	定性評価	定性評価 様式12 定性評価
	適正な履行確保のための研修計画	契約期間中の適正な業務履行確保のための研修 計画の有無及び内容を評価	10点	※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする。 ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない。	定性評価	
履行体制	適正な履行確保のための 業務体制	仕様書に基づく作業計画書の作成と業務内容を 評価	30点	※作業計画書と仕様書との適合性を評価する。 ※管理技術者・担当技術者のヒアリングにより評価する。	定性評価	様式13
品質保証への取組	品質 I S O認証の取得状況	品質ISO認証(9001)の取得の有無を評価	3点	※入札告示日現在の取得状況とする。	定量評価	
	苦情処理体制	苦情処理体制の整備状況を評価	10点	※苦情処理要領(マニュアル等)の有無、内容(役割分担、報告・指示及び結果報告系統、伝達方法の明記必須)	定性評価	<b>様式14</b>
特定提案等	本業務における留意点	開削工事の現場監理における留意点を評価	40点	※提案書記載の内容により評価する。 ※管理技術者・担当技術者のヒアリングにより評価する。	定性評価	様式15
		必須評価 合計	200点			